

「庄瀬コミ協だより」は新潟市の補助を受けて発行しています



地域行事の活動報告

# 庄瀬コミ協だより

第68号 令和4年3月発行

【発行者】  
庄瀬地域コミュニティ協議会

新潟市南区庄瀬6489  
TEL/FAX 025-372-2901  
Mail/syouze.community  
@at.wakwak.com

## 令和3年度 庄瀬地域コミュニティ懇談会(区長と語る会) 質疑概要

◆開催日時: 令和3年11月2日(火)18:30~20:30 ◆開催会場: 庄瀬小学校 体育館

※誌面の都合上、文章を簡略化してあります

### 空き家の管理、有効活用について

発言: 長年放置の家屋について、火災等の未然防止の為持ち主にどのような行政指導を行っているか。

回答: 空き家の管理は所有者等の責任であり、伸びた枝が通行の支障となっている場合は所有者を調査し注意喚起を行う。所有者が判明でない場合や緊急性がある場合は区役所で伐採等することもある。

発言: 管理不全で所有者が対応せず、特定空き家に認定された例はあるか。

回答: 状態の危険度の高い空き家は特定空き家として位置づけ、所有者等に指導、勧告、命令等の措置を取る。令和3年3月末時点で認定したのは全市で16件。南区はない。

発言: 市主催の空き家相談会で、庄瀬地区は交通の利便性が悪く活用方法がないと相談にならなかった。丁寧に対応すべきではないか。

回答: 相談会であれば相続や売買等内容は様々であり、親切丁寧に対応をするべき。本庁所管課に伝える。

発言: 地域づくりを進めるなかで、今後の空き家の利活用について教えていただきたい。

回答: 農業の新規担い手、地域の茶の間、子ども食堂、テレワーク可能な事務所等から活用して頂きたい。

### 人口減少対策について

発言: 庄瀬地区は人口減少が顕著だが何か良い手法はあるか。人口減少に伴って区の再編はあるのか。

回答: 人口減少対策に特効薬はないが交流人口を増やし、地域の賑わいを高めていく手法はあると思う。まずは出て行った子ども達が戻ってきたくような魅力的な地域にするため、課題を見つけ出し、その解決に向けた議論を重ねることが大切だと思う。区の再編については、これまでの論点整理を行い将来の区のあり方について議会や市民の皆様と議論してきて、当面は現行の8区体制を維持する。

### 防災について

発言: 災害時、避難について隣接の加茂市や田上町との連携や協力体制はあるのか。ライフラインの修繕も協議されているのか。庄瀬橋の今後の改修計画はあるのか。

回答: 本市は加茂市や田上町を含めた近隣12市町村と災害時相互応援協定を締結しているので近隣市町村のどこに避難しても受け入れ体制となっている。ライフラインについては公益性の高い電気やガスは全国規模で連携する。庄瀬橋が潜り橋と認識しているが現時点で架け替え計画はない。

### 道路の舗装について

発言: 庄瀬橋を渡った田上町の農道が傷んでいたため、昨年度の懇談会でお願いしたところ、150mほどは改修されたが、その先は改修されていないので田上町に働きかけてほしい。

回答: 田上町によれば、改修した部分については12月31日まで工事を行う。その先も舗装が傷んでいることは確認しているので引き続き田上町に伝えたいと思う。

### 産業の振興・まちの活性について

発言: 住みやすい生活しやすいところは、農業・商業・工業のバランスが取れているのが一番である。庄瀬地域において、かつて商店等はあったが現在は閉店している。地域活性化の為に何をしたら良いのか。

回答: 特効薬はないが、皆さんが地域をより良くしたいという思いを持つことで解決策を見出せないかと思っている。区は地域を盛り上げたいという提案に対して、まちづくりサポート事業という形で支援している。今年度は7団体のうち庄瀬地区自主防災会から「災害を乗り越えられるまちづくり」として防災計画・防災マップの作成において活用して頂いている。店舗を誘致することは難しいが地域を盛り上げたいという思いに対しては出来る限り応援していきたい。

発言: 一昨年、まちづくりサポート事業を活用するために説明会に行ったが、審査が厳しく応募まではできなかった。高齢者のようにパソコンができない人でも参加できるようにしていただきたい。

回答: 担当課には、事前に相談があった場合親切丁寧に対応するよう注意しておくので再挑戦して頂きたい。

※裏面に続きます

「もくば通信」は新潟市の補助を受けて発行しています

【発行者】

庄瀬地域生活センター  
新潟市南区庄瀬6489  
TEL/FAX 025-372-2901  
Mail/syouze.community  
@at.wakwak.com



# もくば通信

地域のお役立ち情報  
人と人がつながるヒント



※コミュニティ懇談会 質疑概要の続き

## 区バスについて

- 発言：「もっと乗ってバス」のチラシを配るだけでなく口から口へ伝えないと広まらないのではないかと。  
回答：この事業は自治協議委員が考え事業化したもので、区はチラシ作成やホームページ掲載、自治協議委員が地元でPRしている。ご意見頂いたので区としてもできる限りのことをやっていきたい。
- 発言：どうしても区バスが必要であれば職員からも営業していただきたい。  
回答：区バスは収支率30%を下回ると廃止になるため、職員は企業を回り協賛金を頂く営業をしている。皆様からも可能な範囲で区バスを周知して頂き、乗用してほしい。
- 発言：企業だけでなく、地域の茶の間や老人クラブに出向いて説明したらどうか。  
回答：可能な限り、地域の会合などに出向いて説明していきたい。
- 発言：先日、区バスが高齢者を乗せずに通過していったのを見かけた。運転手のマナーを徹底してほしい。  
回答：バス会社に指導し、運転手のマナーを徹底する。

## 白根高校について

- 発言：南区唯一の高校、白根高校の存続云々がここ数年話題となっている。白根高校が存続し特色ある学校になるよう後押ししてほしい。  
回答：白根高校では将来生徒達が地域を支える人材となるよう指導・教育に力を入れている。8区の中で唯一区の予算で県立高校にコーディネーターを配置し、地域と学校の調整を図り生徒が地域でボランティア活動をしている。白根高校の生徒が地域で活動する際は温かく見守ってほしい。

## 高齢者への周知について

- 発言：高齢者へ伝えるには、ホームページだけでなく街宣車で地域を回ったらどうか。  
回答：ご意見を踏まえ、高齢の方にも伝わる方法を考えていく。

## 子育て支援講座について

- 発言：子育て支援講座を公民館と健康福祉課で同じものをそれぞれ行っても効果がない。一つにまとめて大きな事業を考え考えてほしい  
回答：ご意見を踏まえて改善できるところは改善する。

## コロナワクチン接種について

- 発言：予約で戸惑っている高齢者が多かった。3回目の接種は日時と場所を決めて頂けると迷わないのでは。  
回答：ご意見は保健所などに伝えて、前回のような混乱がないようにしたい。

**新潟県まん延防止等重点措置適用延長につき  
生活センターの一般貸室業務休止しています  
2月14日(金)～3月6日(日)**

**3月の「庄瀬Baseもくば」感染  
拡大予防のためお休みします**

## 探しています

もうすぐ春。春、庄瀬のロードでは全域で黄色い『水仙』が彩ってくれます。当地にはもう一種黄色く彩って練れる花が存在します？…『レンギョウ』（連翹）です。平成18年の調べで全体で70%、濃い集落では80%に達する所もありました。この密度には「意図」「作為」を感じるのですが未だにその訳を知る人に出会いません。

**『庄瀬全域に濃く分布するレンギョウの由来を知る人を探しています』**

ヨーロッパでは春を告げる花として親しまれています。只、残念なことに昨年の調べでは全体で50%まで減少していました。『レンギョウ』は地植えのほか、鉢植えで挿し木で増やせますし暑さ寒さにも強く作りも色々楽しめます。花言葉には「期待」「希望」「集中力」といった意味があり春に相応しいと思いませんか？現在お持ちの方は大切に！！

連絡先 元気にしょうせ塾・中丸 ☎025-372-2961 / 庄瀬地域生活センター ☎025-372-2901

